



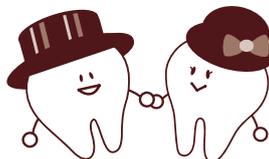
2011

ヨリタ歯科グループ

20周年記念パーティー

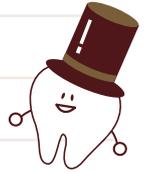


June .8. 2011
in Rihga Royal Hotel Osaka



ヨリタ歯科クリニック開設20周年

ということで 20周年記念パーティーを開催します
 テーマは 「一生のお付き合い」～半径3m 人を大切に～



20周年は 私の歯科医師人生の折り返し地点

そこで思うことは この20年でご縁を頂いて 人に心から感謝し
 そして これに報いること

すなわち これからもずっと家族のような長いお付き合いを通じ
 共に成長し 共に分かち合い とともに夢を現実する
 そんな関係を作りたいと 心から願っています



そのため 20周年記念パーティーの開催テーマを
 一生のお付き合い～半径3m 人を大切に～と名づけました

ここで悩んだこと

それは 限りある招待客で誰を優先するのか
 目を閉じて浮かぶ顔 恩師の先生 先輩 同僚・・・いや 違う
 本当に近くにいるのは 共に働く仲間

そして 仕事仲間と出会えたのは
 それをいつも支えてくれる 家族がいたから

ということで 来賓者 メンバーのご家族の方々
 そして 私の愛してやまないメンバーの方々を含め
 120名の参加者にお越し頂けることになりました



出来れば時間のゆるす限り
 手に手を取って ここまで支えて頂いたこと
 お礼の言葉を かけさせて頂ければと思っています

今回の20周年記念パーティーの主演は 勤務して頂いているメンバー
メンバーを陰で支えている ご家族の方々
そして ほとんどのご家族の方々お会いするのは 初めて

ということで 開催前 出来る限り手に手を取って
ごあいさつさせて頂きました



たくさんのお花や プレゼント頂きました



医院の活動を知って頂くための
医院紹介パネルも作製し 会場に掲載しました



素晴らしいパネルが 出来ました。
今回も1回限りのものですが ここまでこだわって作製して頂いたこと
心より感謝です

いよいよ パーティー開幕
場所は 大阪市中ノ島にある リーガロイヤルホテル
司会は ローゼンさんと久保さん



オープニングは 働くメンバーの笑顔を集めたムービーから
次に 私の挨拶



20周年記念パーティーで思うこと
それは
人は 一人では生きていけない 人は お互い支え合っている
人は 使命を持って生まれている

だから共に助け合い 励まし合うことで
どんな困難も乗り越えられる 笑顔になれる
自分らしく生きていける
20年たち やっとそれに気付くことができました



また 最後に伝えたいこと
ヨリタグループは 歯科業界ならず 他業種からも 高い評価を得ている
そのため 見学者も多数お越しになります



メンバーにとっては かなりプレッシャー
にも関わらず 期待に応える 期待を越えるおもてなし 感動がある

何故 そこまで出来るのか

それは 医院をこよなく愛していること
そして医院で働くことの 高貴なまでの誇り
そう 「愛と誇り」を持ち続けているからこそ



これからも、メンバー全員 愛と誇りを持ち続け
私たちに関わる全ての人を幸せにしていきたい
参加して頂いた人全員に 感謝の気持ちをこめてそうお話しさせて頂きました



その後 来賓者紹介
そして 2011年度入社式を行いました

今回の参加者は 以下の8名
山口先生 樋口先生 入江先生 亀田さん 安松さん
徳永さん 松本さん 木村さん



8名を代表して この4月に入社した山口先生に スピーチして頂きました
以下は 山口先生から頂いた 感想文からの抜粋です



このパーティーで 私が経験した貴重な体験が
新入社員代表としてスピーチさせて頂いたことです

2年前 本日来賓の岩淵先生が書かれた
ヨリタ歯科がモデルとなっている本に出会い
ヨリタ歯科に憧れた私にとって
その方たちの前で話す機会が訪れるなど 夢にも思っていませんでした

緊張しましたが 皆様に顔を覚えてもらうチャンスだと考え
精一杯気持ちを込めて話したつもりです
このような機会を経験できた事は
恐らく私にとって一生の財産になっていくと思います



これだけ素晴らしいイベントの裏には
スタッフの方々の想像を越える多くの努力が隠れている事だと思えます

ひとつだけの心残りは 私自身が今回はその企画に携われなかったことです
来年再来年とこの会が開かれる時はヨリタグループの一員として是非企画実行に
携わっていきたく強く感じました



今日は自分がヨリタグループの一員であること
そしてこのような素晴らしいメンバーの一員になれた喜びを
改めて感じた1日となりました

さらに新入社員の皆様へ ご家族からのサプライズメッセージの披露



そして 会場では ご家族 来賓者の方々へ
アルバム贈呈を行いました





以下は **ご家族の皆様**へ寄せた **私からのメッセージ**です

思い起こせば、20年前の今日、1991年6月8日、ヨリタ歯科クリニックは現在の地、東大阪市花園で開設しました。



オープニングメンバーは、私を含め4名。
有難いことに、当初から多くの患者様に恵まれ、
順調なスタートを切ったように、思えました。
しかし、悲しいかな4ヶ月後、メンバー全員がその日に退職するという、
今思えば、本当につらい経験をさせて頂きました。
早くも経営者として、烙印を押されたのです。

その時の私は、目先の利益や患者様ばかりを見て、日々私を支えてくれている、
チームメンバーのことを思う気持ちが、欠けていたのです。
変わる事のない、相手ばかりを責めていたのです。



それから人も人が離れるという、多くの有難い学びに満ちた経験を、
幾度となく、味わいました。
10年たち、やっと気付いたこと、それは今日のテーマでもある
「半径3メートルにいる人と、一生のお付き合いをする」ことの大切さ。
人を心から信じ、励まし合い、同じ夢を追い求めることの大切さ。



自ら変わる勇気と、明るい未来を信じる強い心を、
持つことが出来るように、なりました。

「人は、一人では生きていけない。人は、お互い支え合っている。
人は、使命を持って生まれている。」
開設して20年が過ぎ、心からそう言えるようになりました。



私の愛するメンバーをここまで育て、そして、今も励まし続けてくれるご家族の皆様、
そして、私たちの医院を、ずっとずっとサポートしてくれる歯科関係の皆様のお陰で、
今日、このような祝宴を開催させて頂く事が出来ました。



これからも、皆様の支援のもと、愛してやまない多くのメンバーと共に
私たちは1歩ずつ成長し、それぞれの夢を実現していきたいと、
切に願っております。

新入社員はもとより 勤務している社員にとっても
 仕事は 時としてつらいもの
 やめたくなる時 逃げ出したくなることもあったと思います
 そんな時 支えてくれる心のより所になってくれるのが
 家族の支えなしでは 生きていけないもの



しかし 家族の方が 自分の子供が どのような仕事を実際しているのか
 どのような仕事環境で働いているのか 見ることは まずありません

だからこそ 今回のパーティでは 職場の雰囲気を知って頂くため
 医院紹介パネルを作りました
 職場で楽しく働くメンバーを ムービーで紹介しました

そして メンバー一人一人から参加されたご家族様へ
 ビデオメッセージでも 流しました

「こんな素敵な職場で 働けて良かったね」
 「ここなら 安心して任せられるね」
 「ここだと 永く働くことができるね」
 そう思ってもらったら 嬉しく思います



2011

♡♡♡♡♡
The 20th anniversary

後半は 各グループごとに分かれ テーブルを囲んでの**食事会**
乾杯の声は いつものように**武藤先生**



そして 各グループごとに**楽しいイベント**も開催



私たちの医院の発表は **カムカムボーイ カムカムガール**
(声は **森永さん、細川さん**による)の2人による
ヨリタ歯科クリニック訪問記レポート



「そこまでやるか！私たちの大切な患者様への**究極のおもてなしムービー**」
そして**エンディング**は 「**あなたがいてくれてありがとうムービー**」
(勝手に私が名付けました)

これが また良く出来ていました
笑いあり 学びあり そして**感動あり**
とことんこだわる **ヨリタ歯科クリニック**の
真髄を見たようでした

また 来賓者を代表して 上間京子先生
岩淵龍正様より 祝詞も頂きました



多くの方々に支えられ ここまで来ることが出来たと
そして ヨリタイズムのさらなる浸透の大切さ
そして今日も 勤続5年 10年の記念バッジをお渡ししました



代表して 永井先生のスピーチ



その中で 心に残った一言
永く勤務し続けられた 3つの理由

- ①共に励まし続けてくれた同期が いてくれたこと
- ②チームメンバーが 温かいこと
- ③ヨリタ歯科の文化にある 個人のいい所を伸ばしてくれること

仕事に対する モチベーションが維持すること
やりがいがあること 常に成長していると実感できること
そして自分を認め 正当に評価してくれる上司や仲間がいること
仕事を永く続けるために 大切であると思いました



そして最後の締めは この人 **大林先生**



20周年は 人でいえば**成人式**を迎えたようなもの
ヨリタグループは やっと**一人前の大人(企業)**として**世間に認知**されたばかり

これから**責任ある企業**として **育てて頂いた思い**を忘れず
社会貢献していきたいと **強く語って**頂きました



20周年記念のお祝いが 医院にもたくさん届きました
本当に本当に 有難いこと
この場をお借りして お礼申し上げます



たくさんの有難いコメント 頂きました
次のページからは パーティー参加者からの感想文です
感謝の言葉を頂けたこと 心より嬉しく思います
ご興味のあるあなたは お読み下さいね

私はこれからも **楽しくやりがいを感じる人生**
歯科衛生士を突き進みます

正直 人間つらくて投げ出したい時もありますが **頑張りたい**と思っています

今日 来賓の**岩淵さん**が
「**信頼を築くのは大変**ですが **それを崩すのは簡単**ですぐです」と
おっしゃっていました 本当にそうだと思います

私も色々な方々に期待され **信頼される人間**になれるよう
これからも**努力し 頑張りたい**と思います



今回改めて 今当たり前となっていることは
今までこの**20年ヨリタ歯科**で働いてこられた

たくさんの**素晴らしいメンバー**が作り上げ
一人一人が**受け継いできたこと**であると思うと
絶対に壊してはならない歴史の中に 今立っているのだと**誇り**に思いました

悩んでいる暇はない 「**ライバルは自分**」と院長が言っていたように
今の自分には その言葉が**必要な時期**だと感じます

これからも一番近くにいる**家族 友達**
そして**メンバーの皆**に支えられているということを いつも感じ
感謝することを忘れず
毎日を大切に過ごしていきたいと思います

同じテーブルに座っていた家族のお父さんやお母さんが ムービーをみて
「いつ撮られたんですか」 「すごく楽しそうですね」と
にこやかに笑っておられる姿があり メンバーやヨリタ歯科のお話を
少しさせていただけの時間がありました

そのメンバーが家族の方を呼び
どんな所で働いているのか わかってもらえることが
とても素晴らしいと思います
これはほんとに大切な事で ご家族の方も反対に
安心されたのではないのでしょうか？



家族へのメッセージ そして家族からのメッセージには
感動しっぱなしで 涙がとまりませんでした

私も遠く離れて暮らしている家族に 感謝の気持ちでいっぱいになりました
早速電話して声が聞きたくなりました
ありがとうございます

明日からまた新しいヨリタ歯科がはじまります
ヨリタ歯科の文化や歴史を みんなに伝えながらも
新しいものも取り入れて 日々前進していきたいと思っています

院長 20周年おめでとうございます
これからも よろしくお願い致します

まず 今まで創り上げた**歴史と文化に深い関わり**がある
以前に勤めていた方が参加してくださった事が とても嬉しかったです

今は離れて働いていても **思いを共有**できることに**感動**しました
今まで勤めた **たくさんのメンバーの方のおかげ**で
今のヨリタ歯科を築き上げられたのだと 改めて感じました



今回は **メンバーのご家族**も参加して下さい
お会いできた事を とても**嬉しく**思います
普段から **メンバーは家族のような存在**だと言いつけているので
メンバーの家族は もちろん私たちにとっても**家族のような存在**です

家族の支えがあるから 今の自分があることにもっと**ありがたみ**を感じ
もっと表現していこうと思える とても**良い機会**を頂きました

また **新人スタッフの家族**の方からの**励ましのお手紙**
スタッフから家族へのお手紙は **自分の家族**のように感じ
また**号泣**してしまいました **メンバーのとても大事**にしている所を
皆に見せてくれて 再び**家族観が強まりました**

今回の**20周年パーティー**を機会に 数多くの思いを形にする事が
できたのではないかと思います
私は **当たり前**に**過ごしている**中で **当たり前**ではない事に目を向け
周りを大事にしていく事の大切さを 改めて感じる事ができましたそして
自分の職場に 今まで以上に誇りを持ってました

私が入社した時にはすでに
今のヨリタの形が出来ていましたが パーティーに参加させて頂き
改めてここに来るまでの歴史 見せて頂いた様に思います

この5年間 チームメンバーとして そばで院長を見ていましたが
常に患者様やスタッフへ耳を傾け 患者様にとってもスタッフにとっても
より良い医院環境にするために 全力疾走している
院長の姿がいつもありました

20周年パーティーに 沢山の方が来て下さり
「院長の周りにはいつも沢山の人がいらっしゃるなあ」
「沢山の人に支えられて院長は幸せだなあ」と思いました



それと同時に 常に感謝の気持ちを持ち続け
感謝の気持ちを声に出して 相手の方に伝え続けている姿があるからこそ
院長の周りには 人が集まるのだと思いました
そんな素晴らしい院長の元で働かせて頂いている私は 幸せ者です

私自身今 仕事もプライベートもとても充実しています
仕事がとっても楽しいし ヨリタのメンバーがとっても大好きです
ヨリタに来られる患者様に もっともっと満足して頂きたいと思います

年々 院長がお話していた
愛を持って 仕事へ取り組める自分がいるように思います
これからも ヨリタの文化を先輩と一緒に
後輩に伝えて行けたらと思います

僕自身はまだ入社して **4年**という**短いもの**ですが
 式典中にあった**スライド**を見て あらためてこの**20年**という
時間の重みを感じる事ができました
10年前に医院を**大改装**し ソフト面でもハード面でも
大改革を起こした**ヨリタ歯科**

患者様に対する **ホスピタリティ**を重視する中で
 何よりも重要視してきた **スタッフ満足度の充実**
スタッフが**やりがい** **生きがい**を持ち **いきいきと輝きながら仕事**をする姿が
 評価され それが**患者様満足度**につながるという好循環になり
 日本でも数少ない患者様で あられる歯科医院が実現されたのだと思います



理事長はもちろん 入社**10年**を超えている**コアメンバー**は
 それはそれは **大変な苦勞**があったのだろうと思います
 そういった方々が積み上げられてきた上に **今の僕**がいると思うと
 より一層**感慨深いもの**となり 現状に満足することなく
 さらに積み上げていくことが僕の**責務**であると感じます

ヨリタ歯科グループは **今後30年40年**と発展していく歯科医院であり
 そのような**大きな職場**に身を置いていることに**感謝**し
 今後もより一層精進していく必要があると思います

グループの発展に 微力ながら**貢献**できれば
 そして**30周年** **40周年**も このメンバーで**お祝い**ができればと
 心から思います

当日 今までヨリタ歯科クリニックに携わっている方々をお招きして
改めて私たちの医院は**多くの方の支え**や **関わり**があったからこそ
今のヨリタ歯科クリニックがあるのだ と
今までのヨリタ歯科クリニックを**知れる機会**になりました

また **グループ医院との交流**もでき
ヨリタ歯科グループらしさというものを 感じる事ができました
本当に、時間が過ぎるのが早く **退職されたスタッフ**や
休職中のメンバーに**会えたこと**も **すごく嬉しい時間**でした



ヨリタ歯科グループで 働いていたスタッフとの
絆が大きかった事も 改めて築く事ができました

また **ヨリタグループらしくサプライズの手紙**では
手紙をもらったスタッフや **ご家族の方が感動の涙**を流している姿をみて
私も思わず **感極まって泣いて**しまいました
共感できる環境も改めて**素敵な環境**だな と思いました



来賓の岩淵さんのお祝いのお言葉には
身の引き締まるメッセージが込められており
とても印象に残りました

「今 こうしてヨリタ歯科で働けることが当たり前と思っではいけない
とても恵まれているということを 認識して下さい
今まで少しずつ たくさんの人たちによって作りあげられてきた
ヨリタらしさや ヨリリズムを誰かが伝えてくれると思うのではなく
新しいメンバーも含めて みんなで伝えていく気持ちを大切にして下さい・・・」

20年間にわたって 培われてきたヨリタ歯科らしさを
今 共に働く最高のメンバーと一緒に
これからもさらに発展させていきたいと さらに強く感じました



寄田先生 開業以来 いろんなことがあった20年間だったと思います
楽しいことばかりではなく 苦しいこと悲しいこと・・・
いろいろありましたが 傍で私に見えた寄田先生はいつも
どんな時でもすぐに立ち直り 前向きに
逆境を糧にして前進する先生の姿でした

そんな先生の姿に 真のリーダーとしてあるべき姿や
行動・考え方を教えて頂いているように思います

これからも 今まで以上に大変なことがあるかと思いますが
そんな強い先生に ついていきたいと思えます
どうぞよろしくお願い致します

今回のパーティーで 院長が作りあげてきたヨリタ歯科は
こんなに沢山の人が関わって
ここまでこれたんだと知ることができました

そして両親からの手紙は 毎回他人の私でも涙が出てきます
今回私の家族は 残念ながら出席できませんでしたが
すごい歯医者だと みんな言ってます

そう言われることは 私も嬉しいです
これからも もっともっと良い歯科医院にしていくために私も
責任を持った行動を していこうと思います



私は リーダーシップをとって前に出るタイプではありませんが
私にしか出来ないことを色々見つけて
考えて小さなことでも 医院に貢献していきたいです
そして30周年パーティーも ぜひ出席したいなと思います
明日からまた 患者様のために一生懸命頑張っていきたいと思います

私の家族は 仕事で来ることが出来ませんでしたが
その代わりにいろいろな準備に 携わることが出来ました

写真を撮ったり 新人さんのご家族への手紙の依頼
ムービーの出演など 大変な事もありましたが
みんなで楽しく準備ができ 本番で感動することも出来
そういう所がヨリタらしいなあと
改めて感じる事ができました

始めは緊張していましたが
途中からは**落ち着いて司会**をできたと思います

司会をしながら ご家族の方からの手紙やご家族に宛てての
手紙の内容を聞きながら **涙をこらえるのに必至**でした

みんなそれぞれやはり **感謝の気持ち**を持ち
日々診療しているのだなと思いました

感謝の気持ちを伝える機会は 歳をとるごとに減ってきます
幼い頃なにも考えず言えていた 「**ありがとう**」が
恥ずかしくて言えなくなったり
維持をはって「**ごめんなさい**」が言えなかったり・・・



今回の**20周年記念パーティー**は **院長**が下さった
本当に素晴らしい **家族に感謝の気持ちを伝える機会**
私は急に**父**を誘うことになったのですが
これもまた**必然的**だったのかなと思います

父はパーティーが終わってから一言
「**参加してよかった**」
帰りは照れくさかったけど 2人で**仲良く**帰りました

後で母親から話を聞くと **大人になった友紀子** **頑張っている友紀子**
そんな姿に触れられて良かったと 話していたようです

私は今日 **感謝の気持ち**でいっぱい1日を過ごすことができました
今日1番の驚きは **両親からの手紙**で ずっと涙が止まりませんでした

働き出してから **両親と離れて暮らし**ほとんど連絡もとっていませんでしたが
私のことを**心配**してくれて **応援**してくれている**気持ち**が
手紙にたくさん書かれていて とても**嬉しく**思いました



最近 一人暮らしをはじめて ひとりでは何もできないことや
家族の大切さに やっと気付けるようになってきましたが
その気持ちを伝えることがまだ恥ずかしく 出来ていませんでした
なので 今日の**20周年パーティー**をきっかけに
両親に**感謝の気持ち**を伝えました

職場での話や 今日のパーティの話もたくさんして
母はとても**喜んで**くれました
このような**機会**をつくっていただいた **院長**や**スタッフ**の皆さま
本当に**ありがとうございます**
今日は 「**感謝の気持ちを言葉**にして伝えることが
周りの人を幸せにするために出来ること」ということを **学び**ました



私は **主人**を連れて行きました
 普通なら **妻の仕事の都合**で自分の仕事を休む事はそうそう無いと思います

しかし パーティーへの招待の話をした時 **即答でYESの返事**をくれました
 普段から色々なサポートをしてくれている夫ですが
 サポートだけではなく **心から理解と応援**をしてくれている事が
 伝わってきて とても嬉しかったです



パーティー中も とっても**楽しんで**くれていました
 その笑顔を見ると私も **幸せな気持ち**になりました

今回のパーティーを通じて **院長は半径3m以内の人だけでなく**
その人を取り囲む人をも 幸せにしているのではないかな?と
 思うようになりました



私たちが**楽しんでイキイキと仕事**をする事
 それが **家族の幸せ**にも繋がっているのですね
 普段なかなか面と向かっては 恥ずかしくて言えない
 心からの「**ありがとう**」を **主人に伝える機会**を与えて頂いた事
感謝しています

高校の頃 恩師である部活の顧問の先生に
「ありがとう」という言葉は漢字で書くと 有難う
つまり**有る事が難しい事** だから**当たり前**と思わず **心から感謝**しなさい」

と言われた事を 当時はなんとなく聞いていたのですが
社会人になり働きだしてから
だんだんと そう思うことも多くなってきました



今回の話を聞いて もっともっと**感謝の気持ち**を持って
「ありがとう」を **みんなに伝えたい**と思いました
入社式の後の**母親からの手紙のサプライズ**は 本当に**驚き**ました

ヨリタ歯科に入社してからは **実家暮らし**をしているので
毎日母親とはあっているのですが 陰で**あのような手紙**を書いていたとは
まったく 知りませんでした



一緒に住んでいても 普段は**必要最低限の会話**ぐらいしかしないのですが
こうして改めて**母親からの思い**を聞くと
嬉しいような 少し恥ずかしいような
感動のような 色々な感情があわさった気分でした

縁もゆかりもなかった**関西**へ引越し
何もかもが新しい環境で はじめは何度も何度も
実家へ帰りたいたって思っていました

入社式の今日のこの日まで 続けてこられたのは
本当に**院長**をはじめ **暖かいメンバーの皆さん**
遠くからずっと支えてくれる **大好きな家族**
私を心配ながらも応援してくれる **大好きなたくさんの友人**がいたからです



そしてこれからも ここで頑張ろうと思えるのもやはり
支えてくれる皆さんがいるからです
院長の「**ひとりじゃないから**」という言葉
本当に **その通り**だと思います

ひとりじゃないからできる 頑張れる という一方
ひとりじゃないということは **周りへの責任**も発生するものだと思います



だから 周りの人への**感謝**や**気配り**を忘れないようにする
そんなメッセージも含めての 「**ひとりじゃないから**」という
言葉だったように思います

入社式で 家族の方からの手紙が朗読され 感動して涙が出ました
それと同時に 自分が入社式をしていただいた時の事を思い出しました
家族からの手紙を頂き それを今でも部屋に飾ってあります

ヨリタ歯科に努めさせて頂き 3年目になりますが あの時の感動
初心を忘れずに これからも頑張りたいと思います



この場を借りて 伝えたいことがあるのですが
1度 私はやめたいと院長に言ったことがありましたが
その時にやめなくて 本当に良かったと思いました

確かに辛いこともたくさんありましたが 辞めていたら今の私はいないし
わがままを言った私を置いてくれていた院長には とても感謝しています

そのおかげで 何もできなかった私から
少しは 成長できたのではないかと思います
院長 本当にありがとうございます
そしてわがまままで まだまだ半人前の私をよろしくおねがいします



そしてこの医院は 院長や
今まで勤務されてきたスタッフが 作り上げてきたもの
長期にわたり患者様が 通っていただける歯医者
20年という ある意味成人式を迎えた今
このような環境の整った医院で 働かせて頂いているのだと改めて実感しました

こんな院長の下で働けること ヨリタ歯科の一員になれたこと
伸び伸びと仕事をさせていただいていること 全てに感謝します
仕事という楽しさを教えて下さったのは
ヨリタ歯科だと 自信を持って言えます

20年たった今 一人のスタッフとして医院に貢献できる衛生士になり
そして未来へ ヨリタ歯科の歴史を伝えていきたいと思えます



今まで “ヨリタらしさ” が受け継がれてきたからこそ
今日という日があることを忘れずに
ヨリタ歯科の一員として “ヨリタらしさ” を大切に
進化するヨリタ歯科の力になれるよう 今以上努力し 頑張っていきます

私はここで働いていることを 本当に誇りに思います
こんなにも 素晴らしい仲間と巡り合うことができ
自分自身この数ヶ月で いろいろな面で成長できたと思えます

これからも医院も自分も 成長しつづけていけるように
目標をしっかりともち 過去の自分がおどろく自分が
未来にいるように 努力していきます

20周年パーティーを通し 私自身の24年間も
もう一度振り返る事が出来ました

一番の私の支えは家族です 恥ずかしいことに 今となってですが
ようやく 親の有り難さがわかってきました
父 母 祖父母から たくさんの愛を注いでもらい
こんなに 大きくなりました
改めて 父と母の娘で良かったと思います

私も社会人3年目になり 少し落ち着いてきたので
これからは 親孝行をしっかりしていきます

でも 面と向かって 「産んでくれてありがとう」とは
なかなか 言えないのも事実です
この家族の有り難さや 伝えたいことは後回しにせず
今伝える事を教えて頂いたのは もう一つの私の大切な家族
ヨリタの家族です



一人一人が すごくいい人ばかりで
私には 持っていない部分をたくさん持っていて 全員が尊敬でき
私の支えになってくれているチームメンバーが 大好きです

ヨリタにも 大きな愛がたくさんあり
愛がたくさん詰まった 素敵な歯医者です
私は こんなにも 色んな人の愛で支えられていて
幸せだと思います



♡♡♡♡♡
The 20th anniversary



20周年パーティーを振り返り ～父の背中～



上間先生の祝詞の中で、
「今日初めて寄田先生のルーツを見ました」とのコメントがありました。
最初、何のことかなと思っていましたが、話が進む中で
そのルーツでは、私の父であることがわかりました。

私の父は、当年78才。
しかし、背筋がピンと伸び、誰が見ても若々しく見えます。

若い頃から、服飾関係の仕事をしていました。
会社(工場)と自宅が一緒のこともあり、いつも父の仕事をする背中を見て育ちました。

大学の時は、夏休みなどはアルバイトで家業を手伝っていたこともありました。
一言で言うと、父は寡黙で無口、仕事一筋の努力人。
仕事に対する不満や不平、ムダ口を聞いたことがありませんでした。

また、人前で話すのも得意でなく、
私の結婚式なども新郎である私が、結婚披露宴の最後のスピーチ、
すなわち両家の代表として、父の代わりに挨拶したくらいです。
(ただ単に、私が参列者に直接お礼を述べたかったという意見もありましたが)

その父が、20周年パーティーに来てくれました。
もちろん、演台からスピーチをすることはなかったですが、
各テーブルを巡り、参加者に挨拶していました。
もちろん、上間先生にも。

“親を見れば、子がわかる” “子を見れば、親がわかる”

真面目で黙々と働き続けて来た父に認められるよう
これからも背伸びすることなく、一步一步着実に、
自分の決めた道を、歩んでいきたいと思います。

<父のピンと伸ばした背を追って20年 寄田幸司>



2011

♡♡♡♡♡
The 20th anniversary



20周年パーティーを振り返り ～父の背中～



上間先生の祝詞の中で

「今日初めて**寄田先生のルーツ**を見ました」との**コメント**がありました
最初 何のことかなと思っていましたが 話が進む中で
その**ルーツ**では **私の父**であることがわかりました

私の父は 当年**78才** しかし **背筋がピン**と伸び 誰が見ても**若々しく**見えます



若い頃から **服飾関係の仕事**をしていました
会社(工場)と自宅が一緒のこともあり いつも**父の仕事をする背中**を見て育ちました

大学の時は 夏休みなどはアルバイトで家業を手伝っていたこともありましたが
一言で言うと **父は寡黙で無口 仕事一筋の努力人**
仕事に対する不満や不平 ムダ口を聞いたことがありませんでした

また 人前で話すのも得意でなく
私の結婚式なども新郎である私が **結婚披露宴の最後のスピーチ**
すなわち両家の代表として **父の代わりに挨拶**したくらいです
(ただ単に 私が参列者に直接お礼を述べたかったという意見もありましたが)

その**父**が **20周年パーティ**に来てくれました
もちろん 演台からスピーチをすることはなかったですが
各テーブルを巡り **参加者に挨拶**していました もちろん 上間先生にも

“**親を見れば 子がわかる**” “**子を見れば 親がわかる**”

真面目で黙々と働き続けて来た父に認められるよう
これからも背伸びすることなく **一步一步着実に**
自分の決めた道を 歩んでいきたいと思います

<父のピンと伸ばした背を追って20年 寄田幸司>

